



英語で広がる世界、心でつなぐ世界

佐藤 悠雅

7月30日、SMAN62というインドネシアの高校を訪問した。現地の高校生が熱烈的な素晴らしい歓迎で迎えてくれた。彼らの明るい雰囲気のおかげで、すぐに打ち解けることができた。彼らは本当に温かくて優しく、国や宗教、言語の壁を超えて人と人がつながることの大切さを改めて感じた。特に驚いたのは、英語力の高さだ。私たちは、環境問題など様々なテーマを英語で議論した。共に考え語り合い、共有した時間はとても有意義だった。英語はただの教科ではなく、人とつながるための大事なツールだということを改めて強く実感した。そして、自分の英語力をもっと磨きたいという気持ちが高まった。

また、JICAインドネシア事務所を訪問し、現地での国際協力の取り組みについて話を聞き、国際協力の重要性について深く考えるきっかけとなった。

さらに、今回の研修では、日本人としてどう見られているのかということも強く意識するようになった。自分が日本を代表してここに来ているという責任や、もっと日本のことを説明できるようになりたいという思いが生まれた。自分の国を知ること、国際交流の大切な一歩なのだと感じた。

私はこの研修で、言葉の力と人と人とのつながりの大切さ、そして国際協力の意味を学んだ。今回の研修に参加できたこと、多くの出会いや発見があったことに感謝し、将来に生かしていきたい。